

2024年2月29日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所2号機 運転上の制限の逸脱からの復帰について

敦賀発電所2号機は第18回定期検査中において、2月26日17時27分頃、原子炉補機冷却海水系B系のマンホールフランジ部のボルトをゆるめるべきところ、誤ってA系のマンホールフランジ部（以下、「当該フランジ部」という。）のボルトをゆるめたことから、当該フランジ部からの海水の漏れを確認しました。

当該フランジ部を点検する必要があることから、Aディーゼル発電機の冷却水として必要な原子炉補機冷却海水系A系を停止するため、Aディーゼル発電機を待機除外としました。現在、Bディーゼル発電機は点検中のため待機除外となっていることから、同日19時11分に保安規定の運転上の制限[※]を満足していない状態にあると判断しました。

今後、当該フランジ部を速やかに点検、復旧するとともに、Aディーゼル発電機を運転上の制限を満足する状態に復帰してまいります。

なお、本事象による環境への放射能の影響はありません。

※：保安規定第273条では、モード1、2、3及び4以外において、ディーゼル発電機を含め2台の非常用発電設備が動作可能であることを規定しています。

（2024年2月26日お知らせ済み）

その後、当該フランジ部を点検するとともに、原子炉補機冷却海水系A系の復旧を行い、異常がないことを確認したことから、Aディーゼル発電機を待機状態としました。

これにより、本日11時03分に保安規定の運転上の制限を満足する状態に復帰しました。

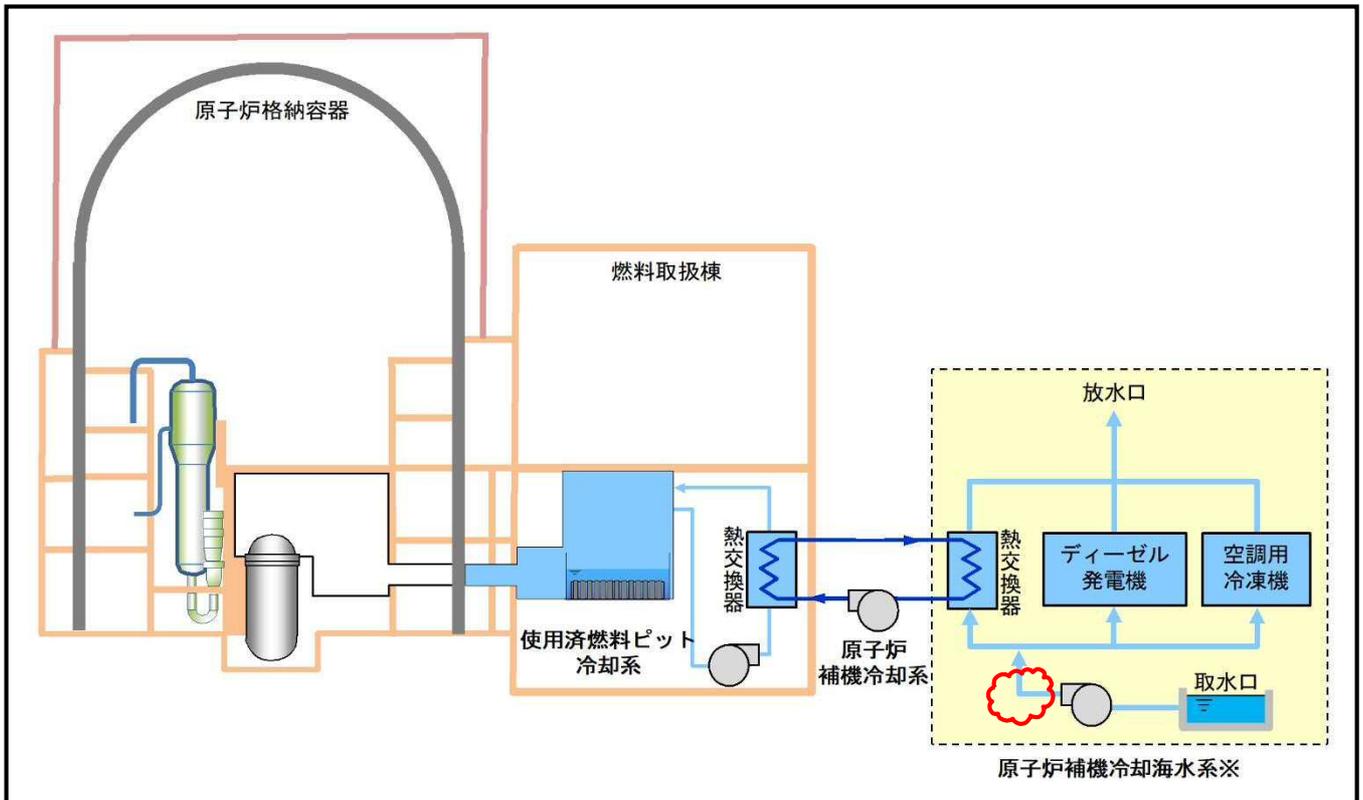
なお、プラントの状況に異常はなく、本事象による環境への放射能の影響はありません。

添付資料1：敦賀発電所2号機 A原子炉補機冷却海水系配管マンホールフランジ部からの海水漏れ

以上

敦賀発電所 2号機 A原子炉補機冷却海水系配管マンホールフランジ部からの海水漏れ

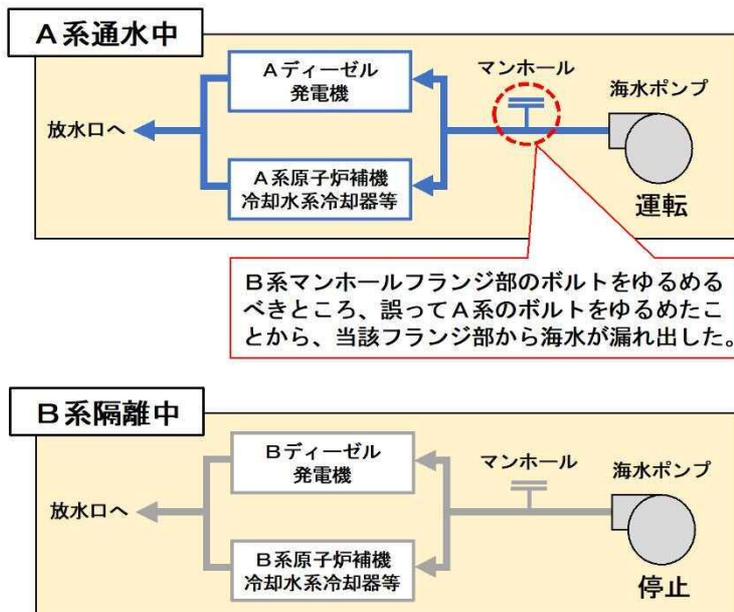
<全体系統図（事象発生時）>



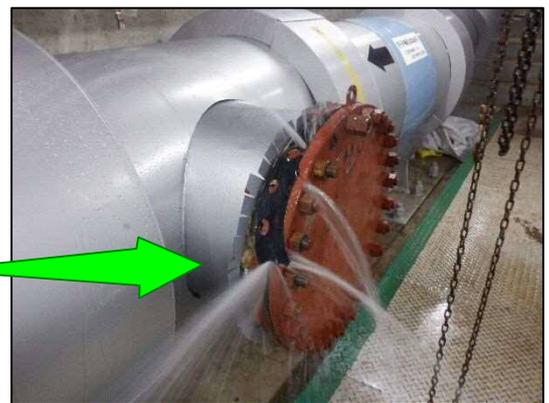
※原子炉補機冷却系熱交換器、ディーゼル発電機の冷却水および潤滑油等の冷却、空調用冷凍機などに海水を供給するための系統

<原子炉補機冷却海水系統概略図（事象発生時）>

<当該部写真>



B系マンホールフランジ部のボルトをゆるめるべきところ、誤ってA系のボルトをゆるめたことから、当該フランジ部から海水が漏れ出した。



- マンホールフランジ部の仕様
- ・直径：600mm
 - ・材質：炭素鋼
 - ・ボルト本数：24本
 - ・ゴムガスケット